

千葉市議会議員(若葉区選出)

秋山あたる

未来立憲民主ちば会派



mail : info@akiyama-ataru.com
web : https://akiyama-ataru.com

秋山あたる

発行元：秋山あたる後援会
〒264-0005
千葉市若葉区千城台北3-3-10 シティハイムチシロ 102
電話番号 050-1065-5394

政策・理念

令和元年4月の統一地方選挙において、若葉区の住民の皆様からたくさん(4321票)のご支援をいただき、当選させていただきました。

さて、私は千葉市をより多くの方が「この千葉市に住めてよかった!」と感じてもらえる地域にしていきたいと思っています。

その実現のため、若葉区をより豊かな街にするため3つの政策「生活・地域」「教育・文化」「福祉・健康・安全」を掲げ、

その推進に力を注いでまいりました。

市議会議員活動をより多くの方に知ってもらい、私個人のみならず千葉市議会への信頼と期待を頂けるよう複数回号にわたり市議会報告をいたします。

ご意見や感想もお待ちしています。誰もが分かりやすい市政に努めて参りますので地域のために、小さなことでもお気軽に声をかけていただけたらと思います。

秋山あたる

千葉市議会で一般質問をしました。

01 NPO法人の減免措置手続きの簡素化

令和元年 第3回千葉市議会定例会・一般質問

収益事業を行っていない NPO 法人の法人市民税の減免については、毎年度申請手続きが必要でした。

千葉県ではみなし免税制度があり、事業内容の変更がなければ申請をしなくても免税される制度があります。市側に申請の省略などによる手続きの簡素化の検討を要望しました。

千葉市の対応

申請の簡略化にすぐに対応、さらにプラスアルファの回答をいただきました。

要件を満たせば、免除申請の手続きに加え、法人市民税

の申告書の提出も不要となりました。NPO 法人側のメリットはもちろんですが、毎年度の申請に対応する市役所側の負担軽減にも繋がりました。

千葉市では、「市民に時間を返す市役所、**チェンジ宣言**」を掲げています。



◎要望を受け、収益事業を行わない特定非営利活動法人に千葉市市税条例の一部が改正され、法人市民税均等割が課税免除となりました。

	これまで	この要望を受けて令和元年度以降
法人市民税申告書の提出	毎年度提出が必要	不要
減免申請書の提出	提出が必要	不要

秋山あたるプロフィール

1991年10月9日生まれ 千葉市出身
2004年 千葉市立更科小学校卒業
2007年 千葉市立更科中学校卒業
2009年 アメリカ・シルバード公立高校交換留学
2011年 千葉県立千城台高等学校卒業
2013年 ワタナベエンターテイメントカレッジ卒業
2019年 千葉市議会議員選挙(若葉区選出)
27歳で初当選 4,321票

2019年度 保健消防委員会
2020年度 総務委員会 環境審議会委員
2021年度 都市建設委員会 都市計画審議会委員
広報委員会委員

【その他】

舞台・朗読劇で松方弘樹氏や若林豪氏と共演
千葉県テニス選手権・ダブルス 優勝
NPO法人テニスコミュニティ千葉 理事

02 多文化共生のまちづくりについて

令和元年 第3回千葉市議会定例会・一般質問

深刻な人手不足を背景に経済の底上げのため、日本で働く外国人は増加しています。

千葉市の外国人人口は、平成30年度末、約2万6500人となっており、今後ますます増加していくものと見込まれます。文化や宗教が違う多様な住民が増えていく中で千葉市に住んでいる誰もの不安を取り除いていくことが行政の役割だと思います。

秋山あたるの提言

①外国人児童への教育

さまざまな理由で学校へ行かないでいる外国籍児童についてこれまで以上に日本語指導、日本での生活への適応指導などを行い、公立学校への円滑な受け入れ体制の整備。

②災害発生時における支援や情報提供

防災に関する動画の配信、日本語学校での災害時対応の講習会および防災訓練の開催とスマートフォンのアプリやインターネットの活用。

③相談窓口の一元化

子育て、医療、介護、年金など縦割りとなっている各行政の担当課での対応を一括した他言語対応の相談窓口の設置。

03

グリーンツーリズム×地方創生



千葉ウシノヒロバ
CHIBA COW'S PARK

令和2年 第1回千葉市議会定例会・一般質問

千葉ウシノヒロバの「グリーンツーリズムについて」一般質問を行いました。

質問1：千葉市のグリーンツーリズムにおける可能性と現状における課題はなにか？

答弁：東京から1時間で都市と自然のバランスのとれた安らぎを得られるローケーション（緑豊かな里山や谷津田、農産物の生産が豊富、多様な生態系が育まれているなど）が魅力である一方エリアの持つポテンシャルが十分に生かされていない。（首都圏広域からの集客力が弱い、施設間をつなぐ手段が脆弱など）

質問2：今後の具体的な取り組みについて

答弁：宿泊施設を備える計画であり、ウシノヒロバを拠点と



●2020年10月 若葉区にウシノヒロバがプレオープン

ウシノヒロバは、「牛と人と自然が、穏やかに交差する場所」をコンセプトにバーベキューやキャンプ場、地産地消を進めるマルシェ、農業体験、仔牛の預託事業などを行っています。

した周辺エリア（観光農園、泉自然公園など）への回遊を促進し、集客効果を広める。

ウシノヒロバのPR、エリアの名称、ロゴマークを決定し戦略的なプロモーションを展開する予定。

●秋山あたるの提言

- ①ウシノヒロバ周辺には御成街道、御茶屋御殿跡地、原田池などがあり、歴史・自然を感じ生かした「グリーンツーリズム」への取り組みを行う。
- ②地元住民の皆様との意見交換や対話を通じて多くの人がイメージを共有し、関わるすべての人の士気が上がるようにする。
- ③周辺施設・エリアへの移動手段（乗り物に乗って景色や自然を楽しむという体験）の案として安全面に考慮する前提だが、電動キックボードなど最新の技術を搭載した乗り物などの利用。
キャンプ場、観光牧場にプラスし、宿泊施設、民泊を利用した「世界に発信する千葉県を代表するような、観光スポット」を目指してもらいたい。

秋山あたる後援会より

ご支援・ご協力をお願い

秋山あたるは、「若葉区を千葉市を誰もが住んでよかった！」と感じるまちづくりを目指しています。

秋山あたるを応援いただける方は、右記「秋山あたる公式サイト・サポーター登録」へのQRのリンクから登録、または事務局までご連絡していただき、ご意見やコメントをお寄せください。



「幹を強くする千の葉の会」

千葉県知事熊谷俊人氏と連携する市町村議員が新たなネットワークで千葉県の特徴を活かし、更に伸ばしていくことを目指す団体です。
秋山あたるは事務局の中心として積極的に参加しています。

